

# 新たに出会う。自分と出会う。

## 第5回和僑世界大会通信

### 第1号

編集発行元

第5回  
和僑世界大会  
事務局

12FLOOR JASMIN BLDG.,  
SUKHUMVIT 23,  
WATTANA BANGKOK  
OFFICE23 内  
ご連絡は下記まで。  
thaiwakyo@gmail.com

# 人は、タイで熱くなる。

【バンコク】アジア各地で活躍する日本人の起業家（和僑）らが年に一度、一堂に会する「和僑世界大会」が十一月二十二日と二十三日、タイの首都バンコクで開催される。二〇〇九年に中国・深センで始まった世界大会も今回で五回目。過去最大総勢千人の参加者が予想され、熱い二日間となりそうだ。基調講演、分科会、物産展と盛りだくさんの内容。締め切り間近、今すぐ、申し込みを！

## 11月22日、和僑世界大会が開幕

今年の「和僑世界大会」は十一月二十二日から、バンコク・スクンビットソイ22にある「インペリアル・クイーンズパーク・ホテル」のグラウンドホールをメイン会場に行われる。講演会や物産展など予想される総参加者は千人を超える見通し。大会実行委員会では、入場制限など混乱が生じないよう事前の参加申し込みを呼びかけている。世界大会は、アジア各地にあって「和僑会」のネットワークをより実効力あるものにして、二〇〇九年に始まった。各地の和僑会が持ち回り、ホストを務め開催。これまで、中国・深セン、那覇、中国・上海、シンガポールで開かれていた。



（開催順）五回目となる今回は、バンコクを会場に行われることが前回シンガポール開催時に正式決定。一年をかけてホスト役である「タイ王国和僑会」が準備を進めてきた。

## 分科会に物産展。盛りだくさんの催し

第五回和僑世界大会のもう一つの見所が、豪華講師陣による分科会（講演会）だ。九月二十日時点の開催予定数は全十六。医療、スポーツ、社会貢献、流通、人材教育、マーケティング、コミュニケーション、起業など、さまざまな分野、世界各地で活躍中の第一人者が講師として登壇する。タイで著名な飲料大手「イチタン」のCEOも壇上に立つ。パフォーミングアーツだけでなく、次々と戦略を講じた、新たな市場に打って出る「サウンドCEO」。どんなエピソードを話してくれるのか、今から楽しみだ。そのほかの講師陣は次のとおり。

山下修作・Jリーグ戦 略室長▽丸山良明・Jリーグ戦

「分科会に物産展。盛りだくさんの催し」



「実行委員会に入ってください」。その熱いまなざしに、断る言葉を告げる勇気はなかった。六月下旬の某日。第五回和僑世界大会でホストを務めるタイ王国和僑会の代表幹事と副代表幹事から直談判を受けた私は、それまで「留保」し続けていたタイ王国和僑会・実行委入りを決めた。▼そもそも「書く」ことを生業としていた者として、起業とは無縁だった。いや、もう少し正確に言えば、起業家は取材対象（応援対象とも）であるが、自分自身も起業家ではないという不可思議な「矜持」があった。だが、それは極めて不確かだ。何ら根拠に基づかない。惜しみだつたのかもしれない。タイに来て間もなく二年。ようやく、そう思うに至つた▼それに比べてタイ和僑の何たるか。未曾有の大イベントを手当で乗り越えてみせようとしていた。我々が等しく持っているはずのDNA。人は、きっと熱くなる。タイで、きっと熱くなる。（小堀）

### 和僑世界大会

## 基調講演講師に大前研一氏

第五回和僑世界大会「今後の活躍が期待される和僑メンバへの激励とアドバイス」(仮題)がテーマ。混沌と投げかけるのが注目される現代、大前氏がアジア各地の和僑メンバに。

大前研一先生、来たる!

人は、タイで熱くなる。

第5回 和僑世界大会 in Thailand

新たな出会いと発見にあふれたドラマチックな2日間。

2013年11月22(金)23(土)

会場:インペリアルクイーンズパークホテル  
www.imperialhotels.com/imperialqueenspark

参加費 12,000円

11月22(金) 11月23(土)

協賛 Asahi HIS THE LEADER

主催:タイ王国和僑会、和僑協会 共催:各地域和僑会 後援:タイ日本人会  
http://thaiwakyo.com

余大前氏は東工大で修士号、米MITで博士号を取得。原子力技師として活動の後、米マッキンゼー社に入社。日本支社長などを歴任し、経営コンサルタント、国家アドバイザーとして活躍。二〇〇〇年以降は主に、教育・人材育成に精力的に取り組む。ビジネス・ブレイクスルー大学の学長を務めるなど日本の次世代を担う人材の発掘・供給などを続けている。

講演依頼は後を絶えず、多忙な日々を送る。今回、和僑世界大会の招きでタイを訪れることとなった。アジアで活動する数百人規模の和僑の面前でどのようなメッセージを発するの注目を集めている。座席にはまだ若干の余裕がある。これを機に大前氏の基調講演に臨んでみてはいかが？

### 微笑みの国から